

日限山中学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年12月1日～平成22年3月31日

学校教育目標

子どもが自分らしさ発揮できるようにします(個性)

子どもの自立を大切にします(自立)

一人ひとりの生き方を認め合い、共に生きていこうとする態度を伸ばします(共生)

学校経営方針

学校教育目標を実現するために、学びの魅力と活力にあふれたハートフルな学校づくりをめざします。

- ・人間尊重の精神を基盤とし、工夫改善をすすめて特色ある教育課程を編成します。
- ・子どもへの「学びの協業」を円滑にすすめ、社会の信頼に応える学校経営を行います。
- ・教職員が相互に専門性や持ち味を生かして、子どもに支援ができる運営組織を確立します。

指導の重点

- ・確かな学力を身につけるため、主体的な学びをもとに各教科等の学習指導の充実に努めます。
- ・地域との交流活動等の社会体験学習を積極的に行い社会力の向上を図ります。
- ・相談活動を充実させ、自他の人権を尊重する心を育むとともに、豊かな学校生活の実現をめざします。
- ・道徳教育をすすめ、子どもの規範意識や公共心を高めます。

改善の視点

1. 確かな学力が身に付くよう、教科等の指導を工夫充実させ、生徒の学力向上をすすめる必要があります。

取組目標

- ◎教科型教室の活用をはかり、少人数指導・問題解決的な学習などを実施します。そのため、研修会を行い、授業研究を通し教科間の交流をすすめます。
- ◎選択教科については、9教科へと拡充し、平成21年度までには「補充」「基本」「発展」のコース選択ができるよう検討します。
- ・生徒の授業に対する様々なニーズに応えるために、「あの授業をもう一度」時間を設定し、平成21年度より開設する準備を進めます。
- ・1, 2年生の「職業訪問」「職業体験」の対象を増やし、平成21年度までに訪問回数増などを検討します。

2. 青少年の健全育成に関して様々な論議がある中、生徒の規範意識や公共心の向上、豊かな人間性を養う必要があります。

- ・道徳の時間を活用して、ピア・サポート(仲間を支える活動)を充実させ平成21年度までには保護者も参加できるようにします。
- ・地域の方の援助を得て、「いのちの学習」の内容を充実します。
- ・長期休業中の地域交流活動(ボランティア活動)に平成21年度までに生徒全員が参加できるよう、受け入れの事業所・団体を増やすと共に期間も延長します。

3. 生徒が安全で安心して生活できる環境づくりを進めるとともに安全教育を推進する必要があります。

- ◎総合的な学習の時間で安全教育のプロジェクト学習をはじめます。平成19年度は「防災」について、平成21年度までには、「防犯」もふくめて取り組みます。
- ・平成21年度までに、リサイクル活動と関連させて、生徒による自主的な安全点検活動を展開します。

4. 少子高齢化が進む中、公立中学校の良さを発揮しながら、地域とともにあゆむ学校づくりに取り組む必要があります。

- ◎体育祭、文化祭などの行事に、小学生やその保護者、小学校の教員を招待する機会を増やしていきます。とくに、隣接する小学校の6年生には、様々な体験活動に参加する「学校訪問日」を設定します。
- ・図書館協力員、グリーンボランティア、ランチボランティアなど地域の人たちのために「地域交流コーナー」を設け、連携協業の場とします。

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・新任教諭、若手教職員の育成と、複雑化、高度化する教育現場にベテラン職員層が対応できるよう、教育委員会主催の研修を活用するとともに校内研修を充実していきます。 ・メンバーシップをより重視した教職員のチーム力づくりを向上させて、諸課題に取り組むようにします。 ・現在の部活動を維持発展させるよう計画的に人材の確保を図ります。
平成19年度の重点取組項目	<ul style="list-style-type: none"> ◎教科型教室を活かした授業の工夫改善をすすめ、個に応じた指導を推進します。 ◎選択教科の拡充や朝読書を位置づけより一層工夫された時間割や日課表を検討作成します。 ◎外部講師の依頼とともに安全教育プロジェクト学習をすすめます。 ◎「学校訪問日」を開催します。 ◎「地域交流コーナー」設置し、体験別講座の開講など従前の取組をさらに充実していきます。
これまでの取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教科型教室の試行運営の結果、一部ホームページと教科教室を早期に差し換えを行うことができ、支障なく施設利用がすすんだ。 ・朝読書の結果、様々なことに興味関心が高まり学習に対する意欲も向上してきています。
まちとともに歩む学校づくり懇話会等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が地域を理解し、地域も学校を理解して、引き続き連携・協働をすすめてほしい。 ・学校に寄せられる様々な要望等に対して地域も協力して対応していきたい。 ・「いのちの学習」等を充実させていじめのない明るい学校づくりをめざして貰いたい。

※1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 ※2 ◎は重点項目

※3 平成19年8月末更新。